

さんがいばんれい く ようもくさつ
三界万霊供養木札

<概要>

員 数	1 枚
法 量	縦 159.5cm×上部幅 29.9cm/下部幅 28.4cm×厚さ 1.3cm
時 代	南北朝時代（14 世紀）、追記 室町時代（天文 2（1533）年頃）

普門寺^{ふもんじ}は、愛知県と静岡県^{ふながた}の県境に近接した、豊橋市内の船形山中に所在する山寺である。三界^{さんがい}万霊供養は、この世のすべての霊の供養を行うもの。本木札は、暦応元^{りやくおう}（1338）年に三界万霊供養が開催された際に、最初の記入が行われたとみられる。その後、天文 2^{てんぶん}（1533）年頃に再び三界万霊供養が開催され、200 名近い人名が木札の余白に追記されたとされる。

天文 2（1533）年には、当地の戦乱に伴って普門寺の建物が焼失したと伝えられる。戦乱における死者を偲び、荒廃した寺と地域社会の復興を願うなかで、本木札の追記がなされたとみられ、地域民衆を主体とする大規模死者供養の例としても注目される。

三界^{さんがい}（※） 「欲界^{よっかい}」「色界^{しきがい}」「無色界^{むしきがい}」の三つ。欲界は淫欲と食欲がある衆生が住む世界、色界は二欲を離れた衆生が住む物質的な世界、無色界は欲望と物質的条件を超越した精神的世界。



三界万霊供養木札（左：表面、右裏面）



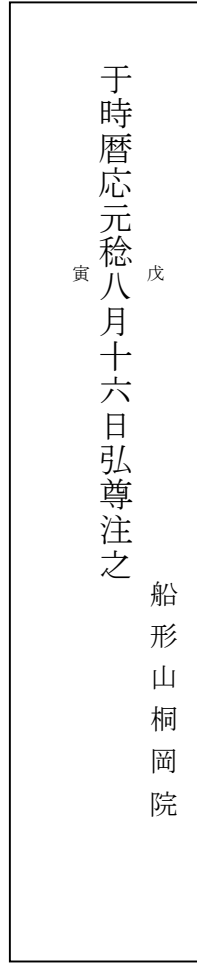
三界万霊供養木札（表面）



三界万霊供養木札（裏面）



三界万霊供養木札（表面の部分拡大）



三界万霊供養木札（表面） 三界万霊供養木札（裏面）

※表面加筆部分の冒頭抜粋（原本は縦書き）

右① <small>(龍猛)</small> □□菩薩 龍智菩薩 金剛智三藏 不空三藏	右② 句尸那国法道和尚 <small>(基)</small> 行基菩薩 覺鑠上人 伝教大師	右③ 慈恵阿闍梨 觀阿大徳 秀尊大徳 権大僧都良瑜 叡秀法印
左① 善无畏三藏 一行阿闍梨 恵果三藏 弘法大師	左② 慈覚大師 <small>(証)</small> 智正大師 化積上人 真雅阿闍梨	左③ 俊英法印 秀尊法師 裔日法印 権大僧都叡順 権大僧都信慶 権大僧都慶覚